

令和 7 年 4 月 1 日

担 当 課:道路建設課 内 線:3043 担 当 者:岩永・光永
--

令和7年度国土交通省関係予算に関する知事コメント

本日、国土交通省九州地方整備局から令和7年度予算が発表され、島原道路で唯一の未事業化区間である諫早市小野町から長野町間について、概略ルートや構造の検討を行う「計画段階評価を進めるための調査箇所」に選定されました。

これは、本区間の新規事業化に向けての極めて重要な第一歩であると認識しております。

まずは、ご尽力いただきました国会議員、国土交通省の皆様方に厚くお礼申し上げます。

また、要望活動等にご尽力いただきました沿線自治体や民間団体など多くの皆様方に深く感謝申し上げますとともに、本区間の事業化に向けて引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

島原道路は、農業など地域産業の支援や交流人口の拡大、さらには救急搬送時間の短縮や災害時の交通ネットワークの確保など、様々な効果が期待されており、その効果を最大限に発揮するためには全線の早期開通が不可欠です。

県といたしましては、計画段階評価が円滑に進み、早期に事業化されるよう、調査に協力するとともに、引き続き、島原道路の一日も早い全線開通を目指して、国や沿線市等と連携を図りながら全力で取り組んでまいります。

併せて、島原半島地域の道路網については、「島原道路以南をはじめ、計画の具体化に向けた検討」を実施することが発表されました。

県といたしましては、国と関係市とともに、必要な調査や検討をしっかりと進めてまいります。